

## 中心市街地の人流を可視化します

市は、行政、地域におけるDXの推進に取り組んでいます。その一つとして、人流データを活用して、中心市街地の魅力をより高める取り組みを進めることにより、地域の活性化を図ります。  
 図情報政策課 (☎504-2024、☎504-2637)

### DXとは


デジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用し、人々の生活や世の中の仕組みをより良い方向に変革することです。

市のDXをより一層推進するため、「広島市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を令和4年3月に策定しました。

基本理念の「さまざまな分野で情報をうまく使いこなし、新たな価値を創造していく『匠(TAKUMI)のまち』の実現」を目指しています。

### 人流データを活用した地域の活性化実証事業

昨年12月から、中心市街地(紙屋町・八丁堀周辺)の人流データを分かりやすく可視化できるウェブサイト(Hiroshima City Dashboard)を広く公開しています。まちづくり団体などによる地域の活性化につながる取り組みの企画立案や効果検証に活用してもらうことを目的としています。

広島 シティダッシュボード 



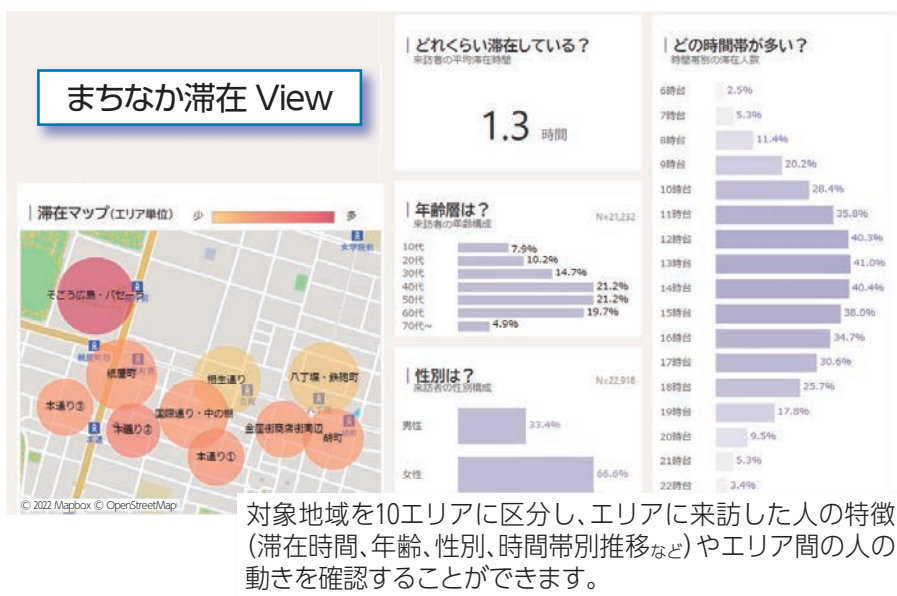
### 対象地域



### ウェブサイトのイメージ



### まちなか滞在 View



広島市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画については

市HP ページ番号 270801



## 森づくりを推進しています

市は、平成27年に「森林づくりプラン21(第2次)」を策定し、森林・林業の振興に関する施策を推進しています。  
 図農林整備課 (☎504-2249、☎504-2259)

### 森林は貴重な財産

森林は木材生産のほか、国土の保全や水の安定的な供給、土砂災害の防止など、さまざまな働きで市民生活を支えています。

この貴重な財産である森林を適切に管理し、守り育て、健全な状態で次世代に引き継いでいくため、市は、森林・林業の振興に関する施策を積極的に推進しています。

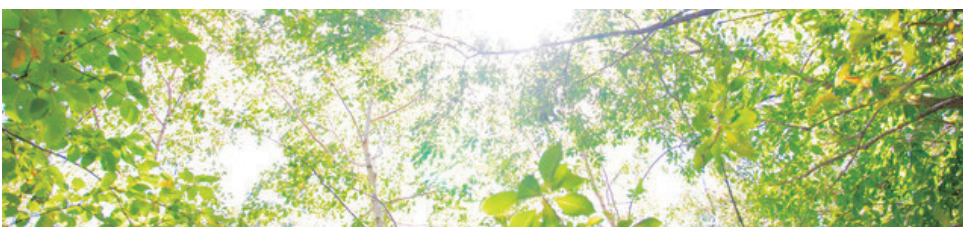
### 地域で森づくりに取り組む活動を支援しています

市は、森林の草刈りや間伐などを行う地域団体などの活動に助成する「里山林再生整備事業」や「市民協働森づくり支援事業」などに取り組んでいます。

市内で活動している地域団体の取り組みなどを紹介します(右記)。

### 地域活動に役立つ市の主な助成制度

制度など	対象団体	制度内容
里山林再生整備事業	町内会・自治会など	里山林整備活動に補助金を交付
竹林整備推進事業		竹林整備活動に補助金を交付
市民協働森づくり支援事業	市民活動団体など	里山林などの保全活動に補助金を交付
森林・林業体験活動支援事業		森林環境教育の実体験を提供する活動に補助金を交付
森林整備指導者派遣事業		里山整備活動や未利用材の搬出活動を行う際に、里山整備士や自伐林業インストラクターを指導者として招へいする経費に補助金を交付



### レポート

### 活動団体を紹介

もりメイト倶楽部 Hiroshima  
 (活動場所: 県内)  
 「里山づくり、学ぼう、磨こう、楽しもう」



市の森林ボランティア養成講座の受講生を中心に35人で、平成9年に設立。現在、約150人が各地の森林保全やノウハウの提供など幅広く活動しています。

「『自分にできることから楽しみながら』がモットー」と山本恵由美理事長(上写真)。未来を担う人を育てるため、小学生の間伐体験(下写真)、学校への出前授業なども行っています。「私たちの命を育む森づくり。皆さん、一緒にやりませんか」



里山再生塾「榎之山」  
 (活動場所: 安芸区瀬野町榎山地域)  
 住民が自然と触れ合える「いこいの森」整備を目指して



平成30年の西日本豪雨災害を機に、里山再生に向けて地元有志4人でスタート。現在、13人のメンバーが主に長者山の間伐、間伐材のチップや薪への加工、販売などを行っています。

代表の三坂公範さん(上写真)は「住民の散策に役立つよう、地域の神社に丸太の階段(下写真)を作るなどの活動もしています。将来は誰もが集える『榎山川いこいの森』の完成がメンバーの夢です」と話します。

